

大阪府豊中市でのとりくみ紹介

上村 有里

(特定非営利活動法人とよなかESDネットワーク)

豊中市ってどんなところ？

- *大阪府の北部にある、大阪市のベッドタウン
- *人口約40万人の中核市
- *公式キャラクター「マチカネくん」



- *「住みたいまちランキング」「住みやすいまちランキング」
などで上位にランクイン!
→医療、福祉、子育て、教育、交通機関などが充実している

わたしたちは、
こんな活動を
しています・・・



児童育成支援拠点事業



子どもの居場所ネットワーク事業

・学校や地域、市民向けに多様な「学びの場」づくりをサポートしています。
・さまざまな体験を通じた「学び合い」や「気づき」から、未来をつくる「ひと」を育むための出前授業や講座、ネットワーク形成などを行っています。

ESDってどんなこと？

1 自らが、体験し
感じ、考え
行動する
体験型の学び合い

2 地域で
さまざまな
行動をはじめ

3 地球上の
いろいろな問題
とつながっている

ESD＝持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）
環境・経済・文化のバランスがとれた、子どもや孫の世代も安心して暮らせる
未来を目指し、行動する人を育て、社会をつくるための学びあいのことです



豊中市立市民公益活動センター



公民学との連携
学習支援「しょこぺん」



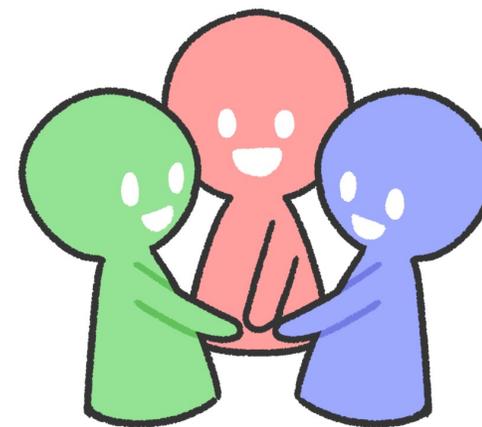
高校生世代のひきこもり未然防止事業



高校でのライフデザイン授業

私たちが大切にしているのは・・・

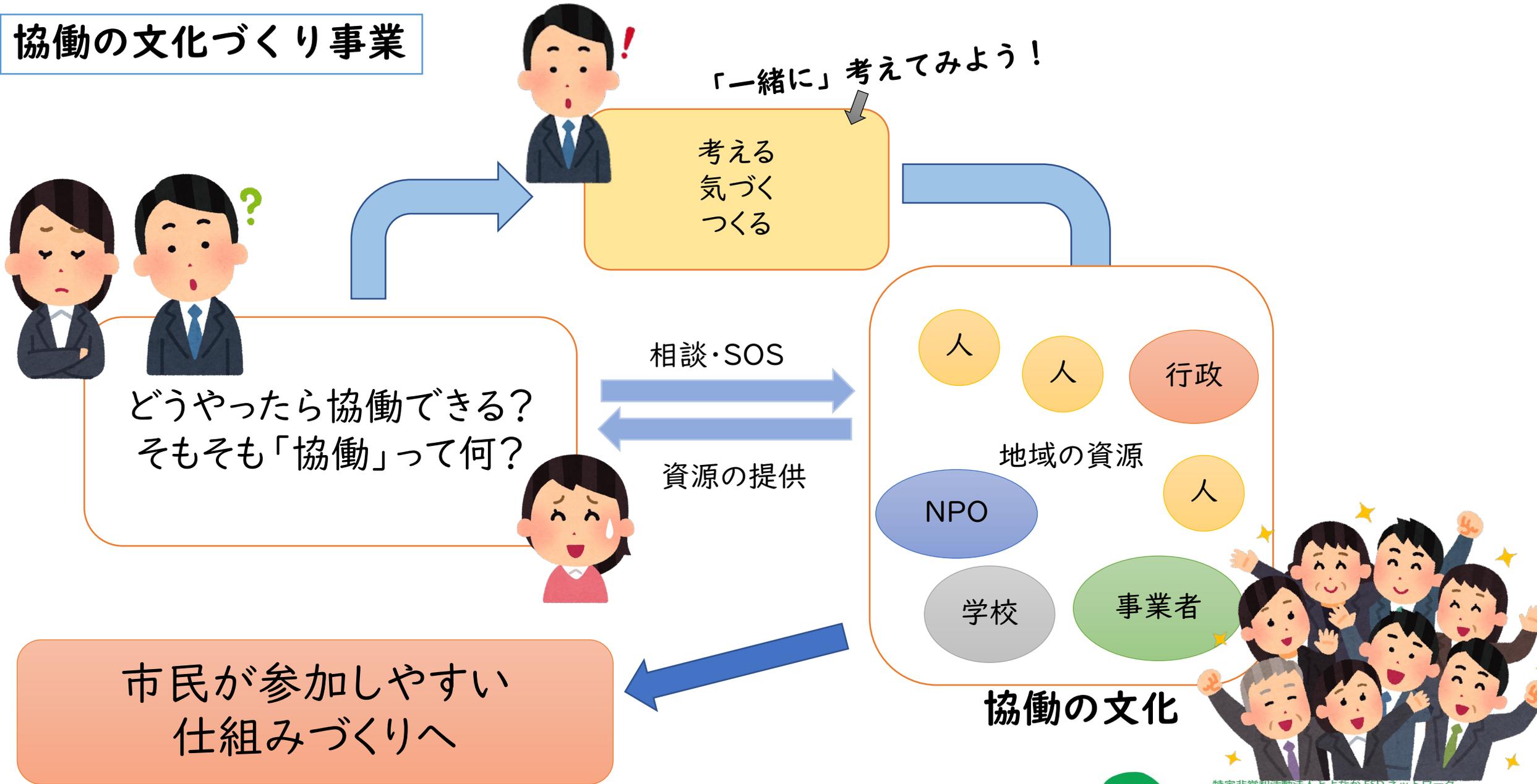
「協働の文化」をつくること



特定非営利活動法人とよなか ESD ネットワーク

Toyonaka ESD Network

協働の文化づくり事業



特定非営利活動法人とよなが ESD ネットワーク

Toyonaka ESD Network

協働マッチング交流会・発表会の様子

*行政職員と市民活動をしている市民とが顔と顔が見える関係になる

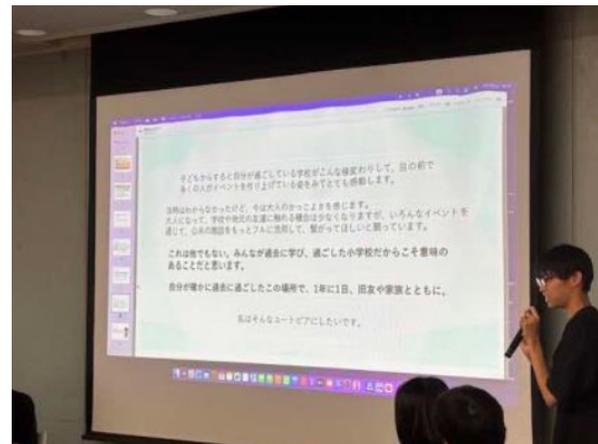


特定非営利活動法人とよなか ESD ネットワーク

Toyonaka ESD Network

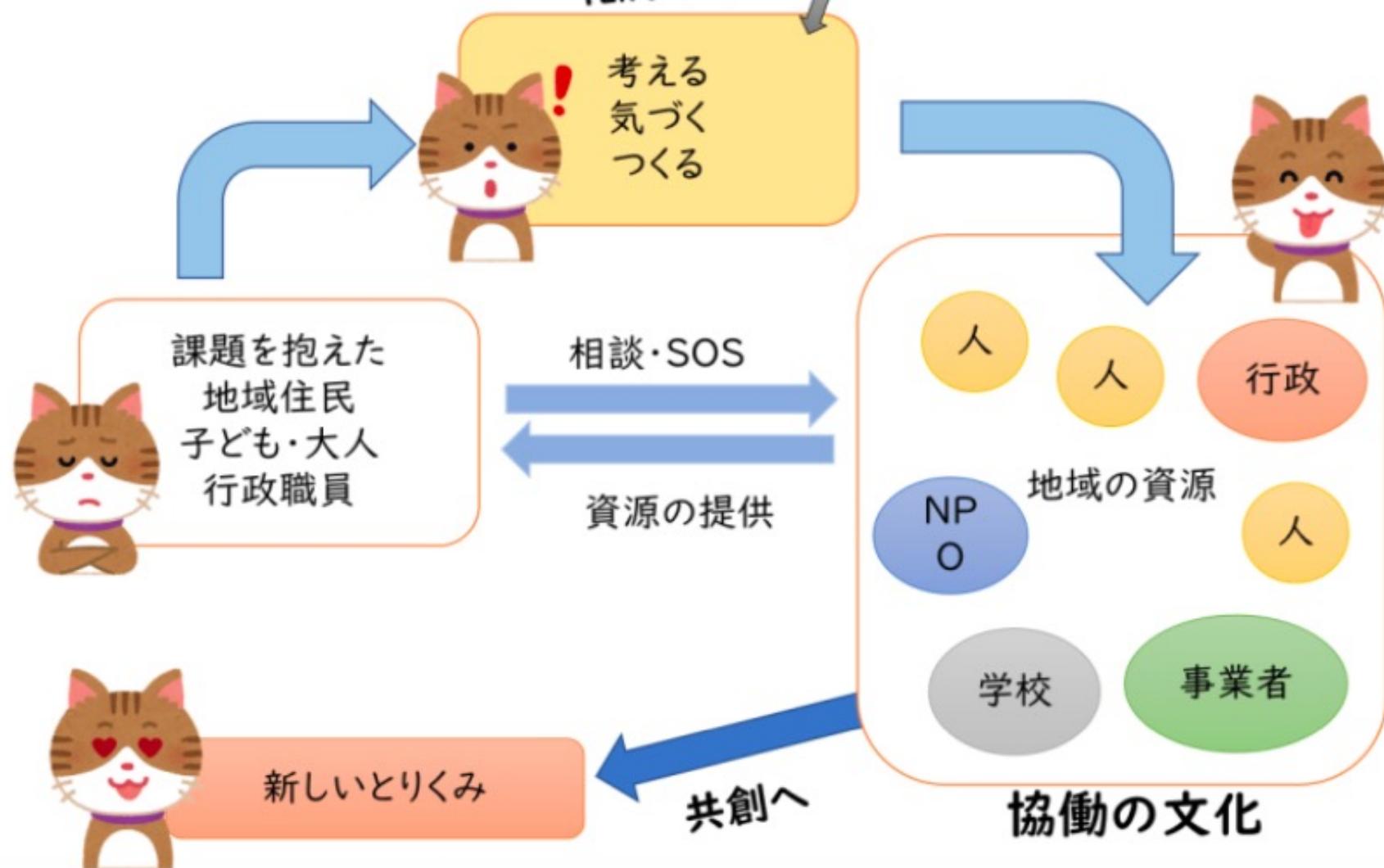
地域自治協議会設立に向けた「地域の大会議」

ワークショップを開催する際に
地域活動の関係者に市民活動
をしている住民を意図的に混ぜていく



循環のしくみづくり

TENがデザインしている (ESD)



特定非営利活動法人とよなか ESD ネットワーク

Toyonaka ESD Network

循環の仕組みの中で…

*組織も人も成長していく
「協働の文化」=育つ文化

*市民一人一人が各団体や組織で課題をみつけ、
取り組めるようになること（持続可能性）を目指す





市民
と、
ともに、
とよなか



ご清聴ありがとうございました。